

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2021年第43週  
(10月25日～10月31日)

- \* 2021年11月4日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<https://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「コウモリとウイルス」、  
「体形と感染症」も掲載しています。

令和3年(2021年)11月5日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2021年43週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		40週	41週	42週	43週	年累計	43週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	65	47	38	41	1,833	240	12,955
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢					2		6
	腸管出血性大腸菌感染症	2	6	7	9	291	70	2,729
	腸チフス							1
	パラチフス							
四類	E型肝炎			1	2	92	4	361
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			1		12		62
	エキノコックス症					1		22
	黄熱							
	オウム病							8
	オムスク出血熱							
	回帰熱						1	7
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>						4	107
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
つつが虫病					2	6	156	
デング熱							5	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		40週	41週	42週	43週	年累計	43週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					3	17	427
	日本脳炎						1	3
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		5
	マラリア				1	9	1	21
	野兔病							
	ライム病						1	20
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症		8	4	3	123	63	1,732
レプトスピラ症	1			1	3	1	30	
ロッキー山紅斑熱								

2021/11/4集計

( 全数把握対象疾患のコメント・一類～四類 )

〈二類感染症〉

**結核 41件** 患者 26件(肺結核 18件、その他の結核 7件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 15件、年齢は20代 6件、30代 3件、40代 3件、50代 5件、60代 5件、70代 5件、80代 10件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 30件、不明 11件であった。

〈三類感染症〉

**腸管出血性大腸菌感染症 9件** 患者 6件(うちHUS 1件)、無症状病原体保有者 3件、血清型・毒素型はO63 VT2 1件、O157 VT1・VT2 1件、O157 VT2 3件、血清型不明VT1・VT2 1件、血清型不明VT1 2件、血清でのO抗原凝集抗体の検出 1件、年齢は10代 2件、20代 1件、30代 1件、60代 2件、70代 1件、80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 7件、不明 2件、推定感染経路は経口感染 1件、接触感染 2件、経口感染又は接触感染 1件、不明 5件であった。

〈四類感染症〉

**E型肝炎 2件** 年齢は50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路は不明 2件であった。

**マラリア 1件** 病型は熱帯熱、年齢は50代、推定感染地はナイジェリアであった。

**レジオネラ症 3件** 病型は肺炎型 3件、年齢は50代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は水系感染(温泉) 1件、不明 2件であった。

**レプトスピラ症 1件** 年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は水系感染であった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2021年43週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		40週	41週	42週	43週	年累計	43週	年累計
五 類 ( 全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	2	4	2	2	83	7	440
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）			1	1	42	2	160
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	8	4	2	163	37	1,631
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く） <sup>*1</sup>					2	1	20
	急性脳炎 <sup>*2</sup>	1			1	19	3	278
	クリプトスポリジウム症							5
	クロイツフェルト・ヤコブ病					10	2	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	2	1	62	12	526
	後天性免疫不全症候群	11	7	7	3	303	11	847
	ジアルジア症					8		29
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					17	1	157
	侵襲性髄膜炎菌感染症							2
	侵襲性肺炎球菌感染症	3		2		109	21	1,094
	水痘(入院例に限る)			1	1	25	7	230
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	49	51	49	60	1,958	130	6,233
	播種性クリプトコックス症		1			13	3	119
	破傷風					2	1	82
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	1			11		100
百日咳	2	1	1	2	47	13	511	
風しん					2		10	
麻しん							4	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					1		4	

2021/11/4集計

\*1 2018年5月1日より追加指定された。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

### （全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 2件** 病型は腸管 2件、年齢は30代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、不明 1件であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴は不明であった。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2件** 病原菌はクレブシエラ・アエロゲネス 2件、年齢は5歳未満 1件、50代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は医療器具関連感染 1件(尿路カテーテル)、その他 1件、90日以内の海外渡航歴無し 2件であった。

**急性脳炎 1件** 病原体不明、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件** 血清群はA群、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

**後天性免疫不全症候群 3件** AIDS 2件、その他 1件、性別は男性 3件、AIDS患者の年齢は30代 1件、40代 1件、その他の年齢は40代、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は同性間性的接触 3件であった。

**水痘(入院例) 1件** 臨床診断例、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、水痘ワクチン接種歴は不明であった。

**梅毒 60件** 患者 39件(早期顕症梅毒Ⅰ期 16件、早期顕症梅毒Ⅱ期 21件、晩期顕症梅毒 2件)、無症候梅毒 21件、性別は男性 40件、女性 20件、年齢は10代 3件、20代 21件、30代 19件、40代 10件、50代 4件、60代 1件、80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 55件、不明 5件、推定感染経路は性的接触 58件(同性間 13件、異性間 40件、性別不明 5件)、不明 2件であった。

**百日咳 2件** 年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、推定感染地は国内 2件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 1件、不明 1件であった。

※ 第42週で報告のあった〔五類〕カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件は削除された。

※ 第40週該当分として〔五類〕バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件の追加報告があった。

※ 第41週該当分として〔五類〕バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件の追加報告があった。

※ 第42週該当分として〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件、侵襲性肺炎球菌感染症 1件、百日咳 1件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2021年43週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2021年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		40週	41週	42週	43週		
小児科	RSウイルス感染症	26 0.10	20 0.08	10 0.04	14 0.05	259	264
	咽頭結膜熱	23 0.09	17 0.07	15 0.06	25 0.10		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58 0.22	65 0.25	78 0.30	84 0.32		
	感染性胃腸炎	645 2.48	691 2.69	696 2.68	821 3.17		
	水痘	26 0.10	25 0.10	17 0.07	22 0.08		
	手足口病	62 0.24	95 0.37	81 0.31	90 0.35		
	伝染性紅斑	5 0.02	3 0.01	4 0.02	4 0.02		
	突発性発しん	103 0.40	116 0.45	89 0.34	106 0.41		
	ヘルパンギーナ	170 0.65	209 0.81	267 1.03	250 0.97		
	流行性耳下腺炎	15 0.06	11 0.04	13 0.05	8 0.03		
	川崎病 <sup>*1</sup>	6 0.02	1 0.00	1 0.00	2 0.01		
	不明発しん症 <sup>*1</sup>	8 0.03	4 0.02	7 0.03	11 0.04		
	インフル エンザ	インフルエンザ <sup>*2</sup>		1 0.00			
眼科	急性出血性結膜炎					38	39
	流行性角結膜炎	10 0.26	5 0.13	3 0.08	6 0.16		
基幹	細菌性髄膜炎 <sup>*3</sup>	2 0.08		1 0.04		25	25
	無菌性髄膜炎		1 0.04	2 0.08			
	マイコプラズマ肺炎			1 0.04			
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1 0.04					
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>*4</sup>						
	インフルエンザ入院						
2021/11/4集計							

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数が前週と同程度で推移しています。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2021年43週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	2			6				1			
6～11か月	2	3		40		2		28	17		1
1歳	4	4	5	122	3	54	1	57	69		
2歳	2	8	4	113	1	19		11	64		1
3歳	2	2	7	86		7		5	50	1	
4歳		4	7	84	1	3		1	21	1	
5歳	2		12	64	2	1	1	1	15	2	
6歳		1	1	47	1	1		1	7	1	
7歳		1	6	31	3		1	1	3		
8歳			10	35	2	2	1			2	
9歳			4	24	3				1		
10～14歳		1	22	76	5				2	1	
15～19歳			1	23							
20～29歳		1	5	70	1	1			1		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	14	25	84	821	22	90	4	106	250	8	2
先週比	4	10	6	125	5	9		17	-17	-5	1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月	3									
6～11か月										
1歳	1									
2歳	2									
3歳										
4歳	2									
5歳	1									
6歳										
7歳										
8歳										
9歳										
10～14歳										
15～19歳										
20～29歳	2			1						
30～39歳				2						
40～49歳				1						
50～59歳				1						
60～69歳										
70～79歳				1						
80歳以上										
合計	11			6						
先週比	4			3	-1	-2	-1			

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2021年43週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				1.00				0.67			
中央区				7.33		1.00		0.67	1.33		
みなと			0.17	1.50		1.00		0.33	1.50		
新宿区			0.71	1.57	0.29	0.43		0.14	0.14		
文京				1.75		1.50		1.25			
台東	0.50	0.25		26.75	0.25			2.25			
墨田区			0.20	1.00		0.60		0.20	0.20		
江東区				3.22		0.78		0.33	0.44		
品川区	0.13		0.25	2.38		0.38		0.25	3.25		
目黒区		0.40	0.20	1.80		1.60			1.80		
大田区	0.23	0.23	0.23	3.85	0.08	0.08		0.46	0.77		0.08
世田谷			0.06	3.56	0.13	0.13	0.06	0.13	0.94		
渋谷区			0.25	1.50				0.25	1.25		
中野区			0.83	2.67		0.33		0.50	0.17	0.17	
杉並	0.09	0.64		3.18		0.18		0.55	0.91		
池袋				1.80		0.20		0.40	0.40		
北区				1.86	0.14	0.14		0.57	0.29		
荒川区	0.75	0.25	0.25	3.50				0.50	1.25		
板橋区	0.10			2.30	0.20	0.20		0.10			0.10
練馬区		0.08	0.92	2.69		0.69		0.77	1.31		
足立			0.31	2.08		0.23		0.15	0.69		
葛飾区				1.75				0.13	0.13		
江戸川		0.17	0.42	3.00		0.33		0.42	1.75	0.08	
八王子市		0.09	0.55	5.00	0.18	0.09		0.73	5.00	0.09	
町田市			1.13	3.25		0.13	0.13	0.38	1.13		
西多摩			0.75	2.13	0.13	0.13		0.25	1.63		
南多摩			0.11	0.67		0.56		0.22	0.67		
多摩立川		0.14	0.43	3.21	0.29	0.64		0.29	0.50		
多摩府中	0.11	0.11	0.22	3.11	0.33	0.39	0.06	0.33	0.28	0.22	
多摩小平	0.07	0.21	0.71	4.29			0.07	0.64	0.21	0.07	
島しょ											
東京都	0.05	0.10	0.32	3.17	0.08	0.35	0.02	0.41	0.97	0.03	0.01

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田										
中央区										
みなと										
新宿区										
文京				1.00						
台東										
墨田区										
江東区	0.11									
品川区										
目黒区										
大田区	0.31									
世田谷										
渋谷区										
中野区										
杉並										
池袋				1.00						
北区										
荒川区										
板橋区	0.30			0.50						
練馬区										
足立				1.00						
葛飾区										
江戸川										
八王子市				0.50						
町田市										
西多摩	0.13									
南多摩										
多摩立川	0.07									
多摩府中	0.06									
多摩小平										
島しょ										

東京都	0.04			0.16						
-----	------	--	--	------	--	--	--	--	--	--



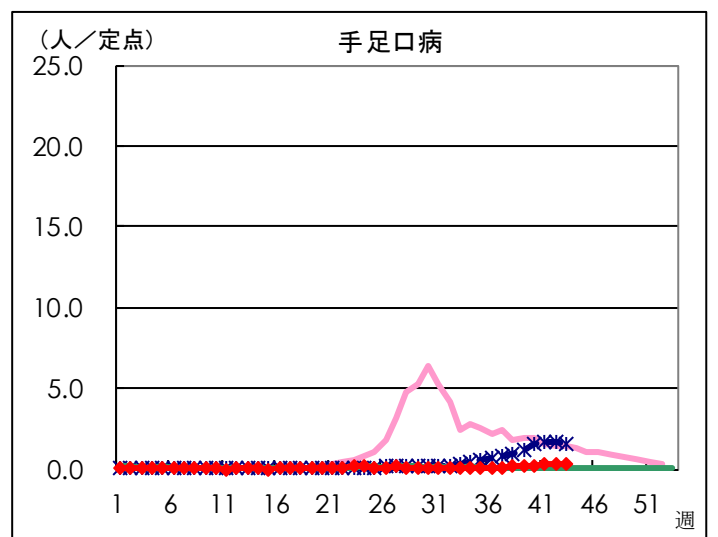
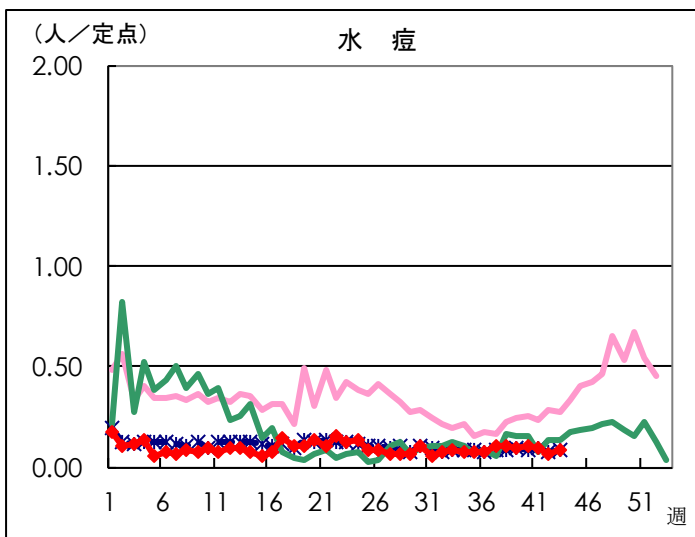
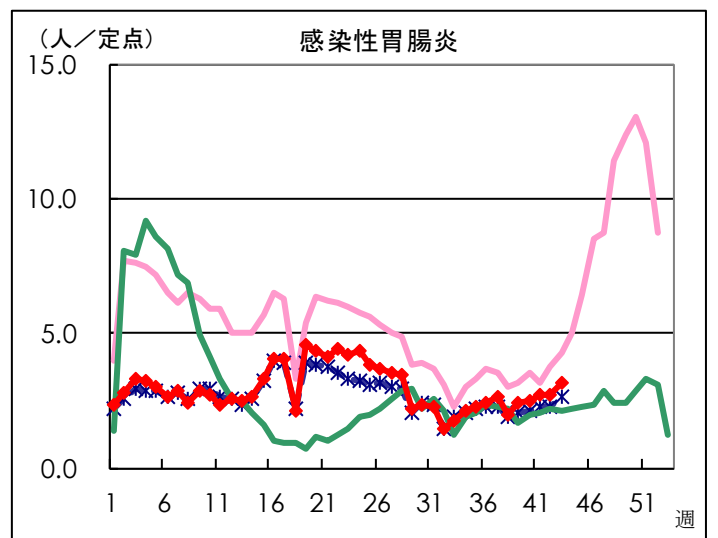
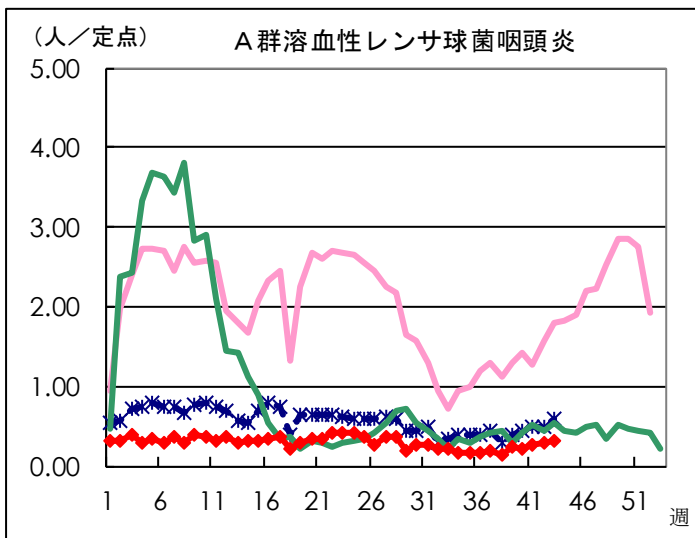
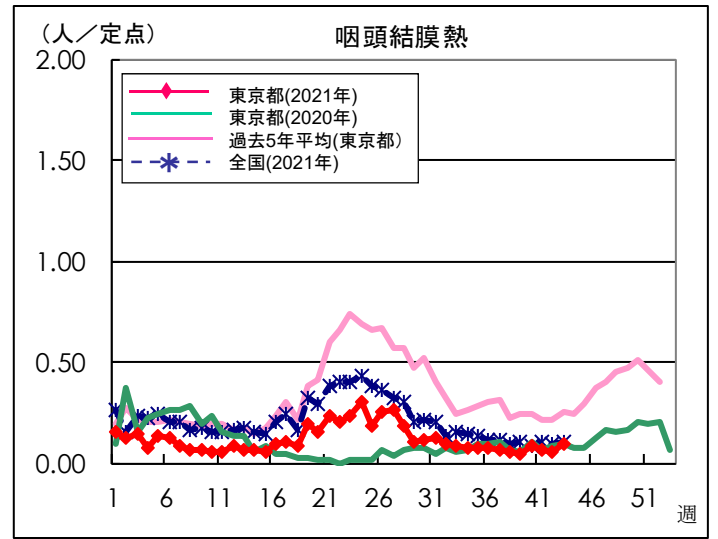
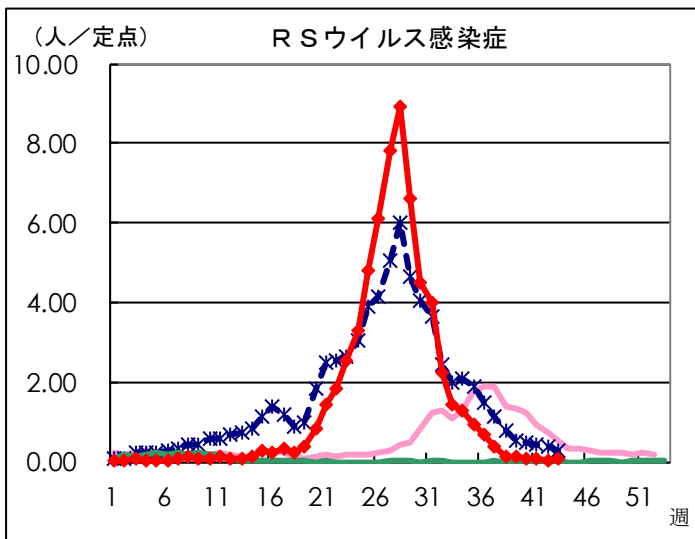
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2021年43週

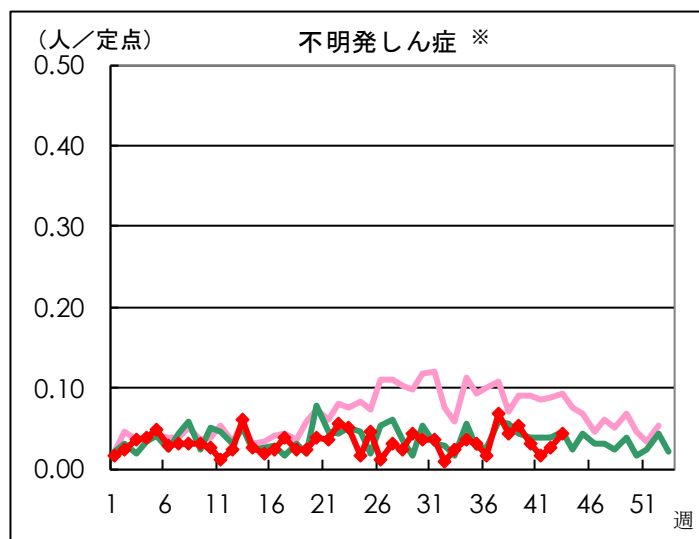
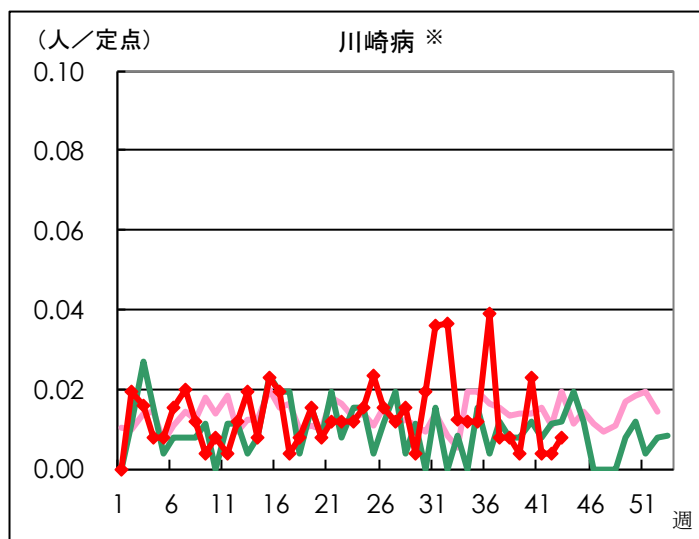
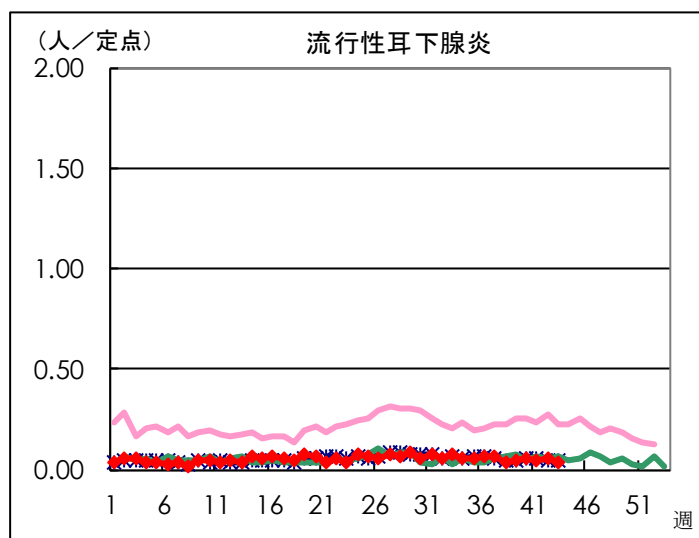
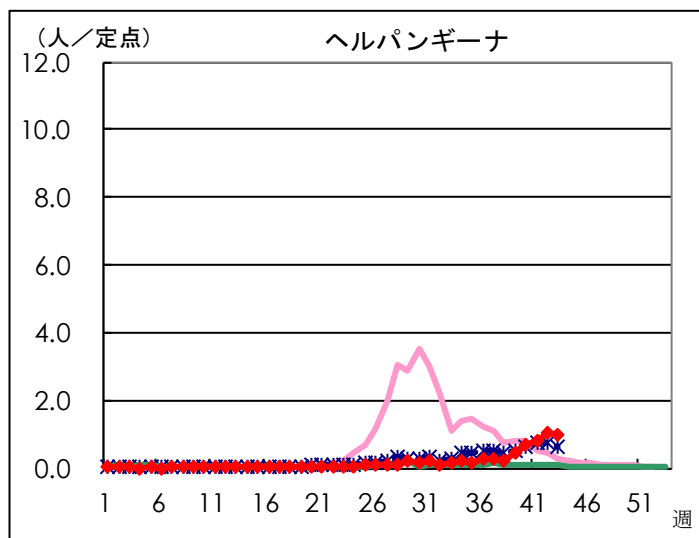
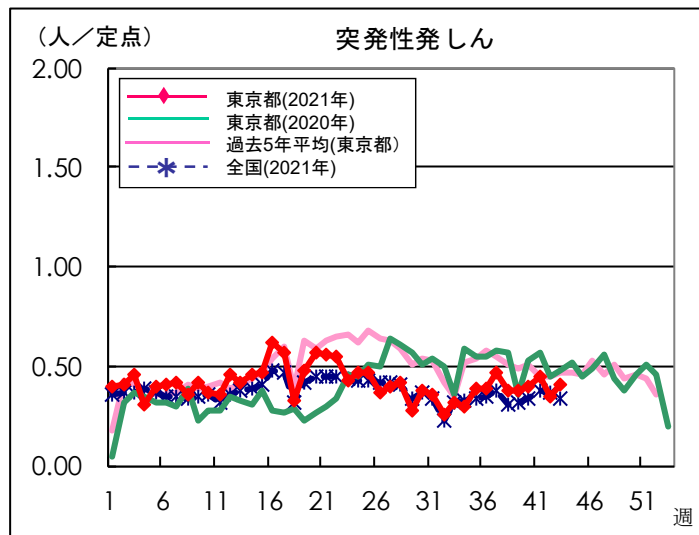
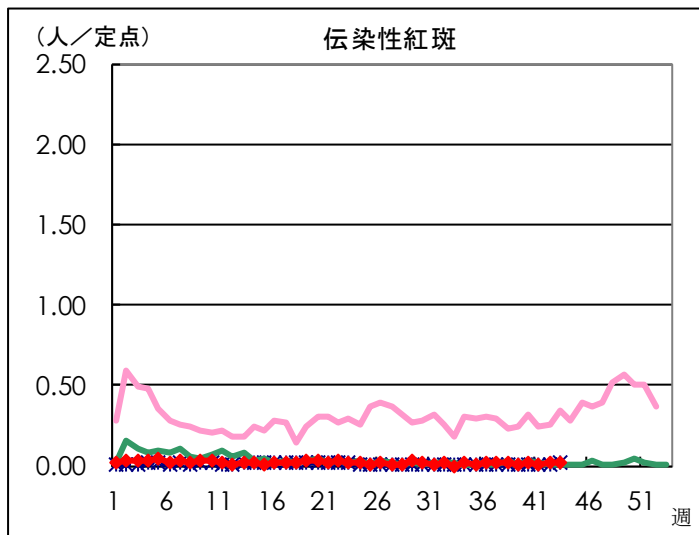
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				3				2			
中央区				22		3		2	4		
みなと			1	9		6		2	9		
新宿区			5	11	2	3		1	1		
文京				7		6		5			
台東	2	1		107	1			9			
墨田区			1	5		3		1	1		
江東区				29		7		3	4		
品川区	1		2	19		3		2	26		
目黒区		2	1	9		8			9		
大田区	3	3	3	50	1	1		6	10		1
世田谷			1	57	2	2	1	2	15		
渋谷区			1	6				1	5		
中野区			5	16		2		3	1	1	
杉並	1	7		35		2		6	10		
池袋				9		1		2	2		
北区				13	1	1		4	2		
荒川区	3	1	1	14				2	5		
板橋区	1			23	2	2		1			1
練馬区		1	12	35		9		10	17		
足立			4	27		3		2	9		
葛飾区				14				1	1		
江戸川		2	5	36		4		5	21	1	
八王子市		1	6	55	2	1		8	55	1	
町田市			9	26		1	1	3	9		
西多摩			6	17	1	1		2	13		
南多摩			1	6		5		2	6		
多摩立川		2	6	45	4	9		4	7		
多摩府中	2	2	4	56	6	7	1	6	5	4	
多摩小平	1	3	10	60			1	9	3	1	
島しょ											
東京都合計	14	25	84	821	22	90	4	106	250	8	2

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田										
中央区										
みなと										
新宿区										
文京				1						
台東										
墨田区										
江東区	1									
品川区										
目黒区										
大田区	4									
世田谷										
渋谷区										
中野区										
杉並										
池袋				1						
北区										
荒川区										
板橋区	3			1						
練馬区										
足立				2						
葛飾区										
江戸川										
八王子市				1						
町田市										
西多摩	1									
南多摩										
多摩立川	1									
多摩府中	1									
多摩小平										
島しょ										
東京都合計	11			6						

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2021年43週 現在)

## ◆ 小児科定点

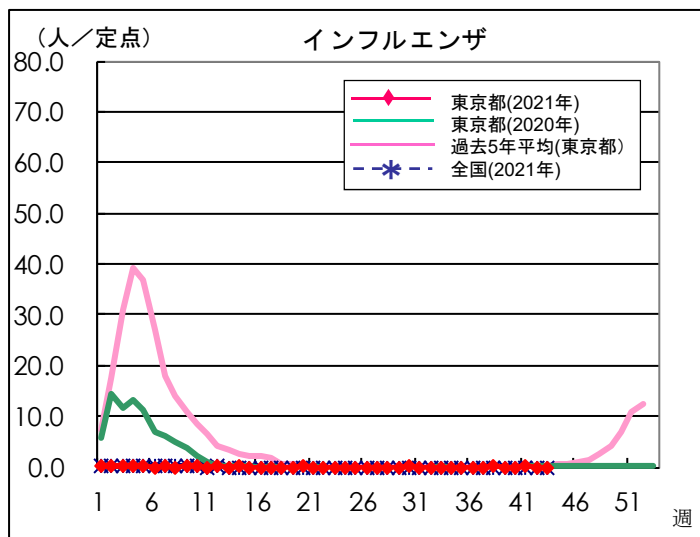




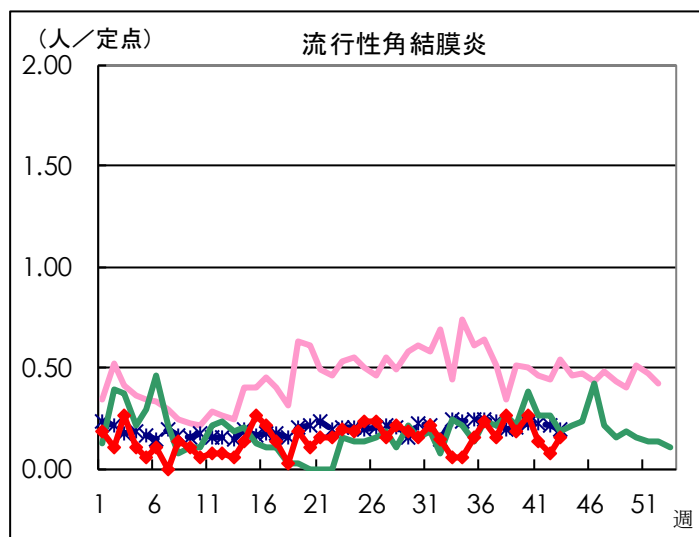
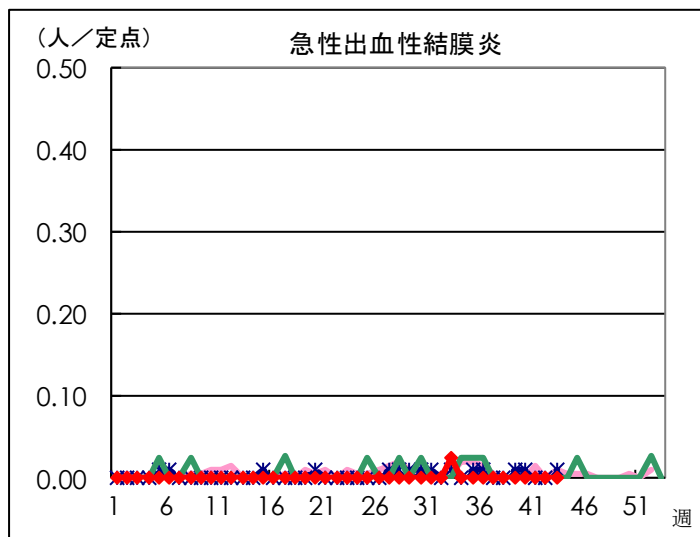
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

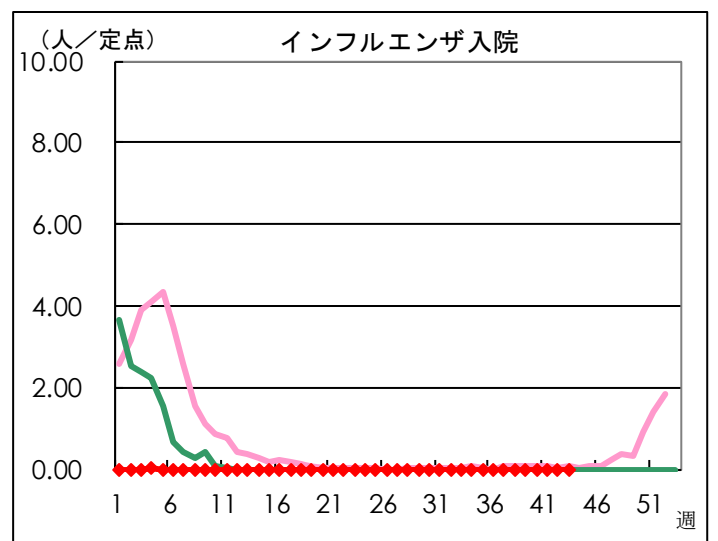
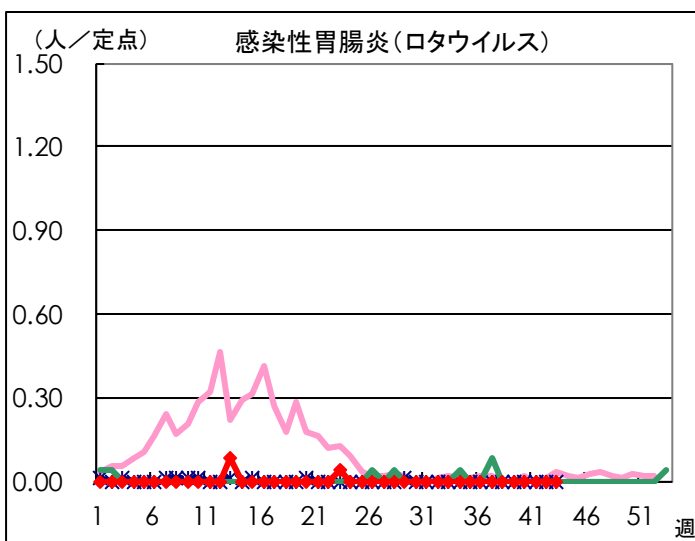
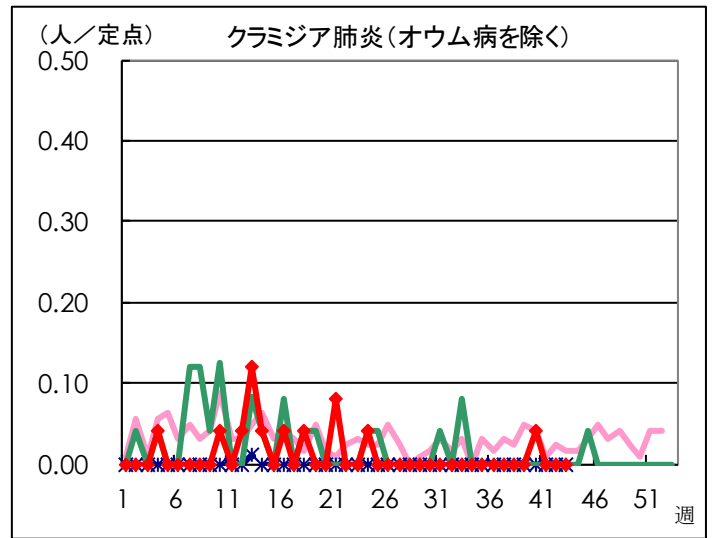
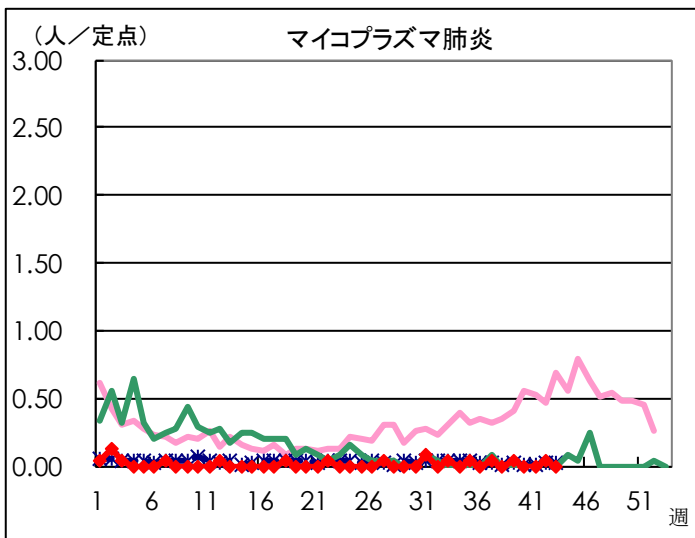
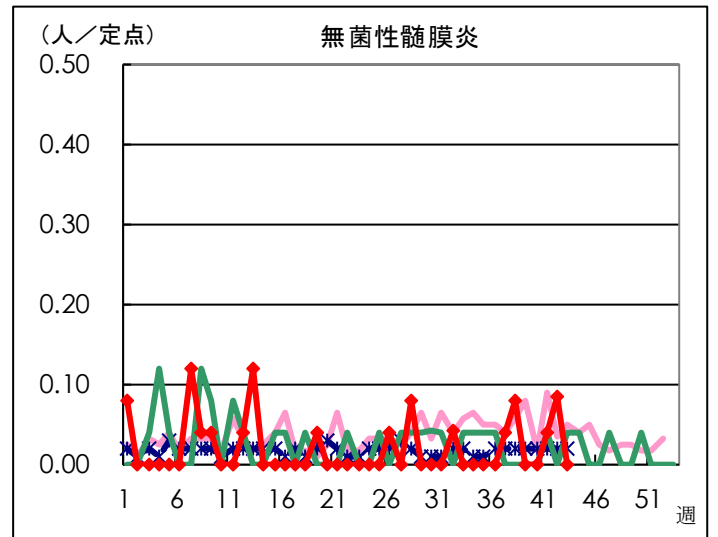
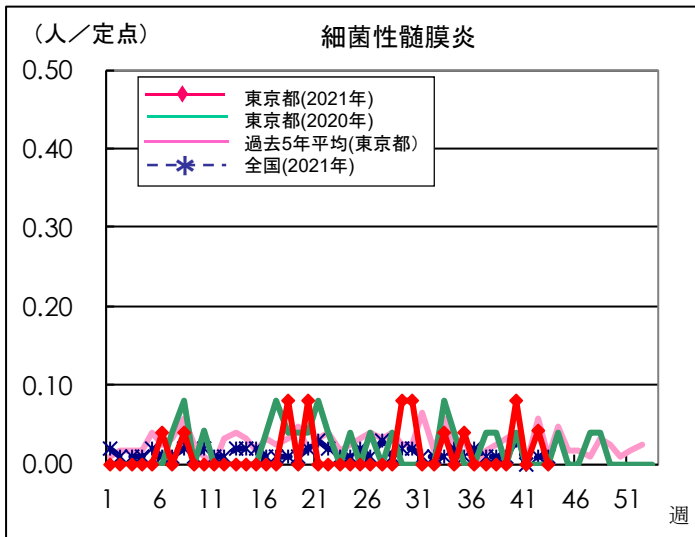
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
10/12	咽頭結膜熱	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

41週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2021年41週				
2021-2022年 シーズン累計*				

\* 2021-2022年シーズンの開始は第36週(2021年9月6日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2021年							
	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週
アデノウイルス								
コクサッキーウイルスA群				1			1	1
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス		1						
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス			1					
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1					2	
EBウイルス		1						
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
風疹1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス	1	1		1		1		
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09								
インフルエンザウイルスAH3亜型								
インフルエンザウイルスB型Victoria系統								
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型								
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型								
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型		2						
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2021年34週～2021年41週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
搬入検体数	5	3	2	4	1	4		8		3	3	6									
アデノウイルス																					
コクサッキーウイルスA群		2				1															
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																					
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス																					
ライノウイルス												1									
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス					1																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								3													
EBウイルス										1											
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス																					
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス																					
風しん1a型(ワクチンタイプ)																					
ヒトパルボウイルスB19																					
RSウイルス	4																				
ノロウイルス																					
ロタウイルス																					
サボウイルス																					
インフルエンザウイルスAH1pdm09																					
インフルエンザウイルスAH3亜型																					
インフルエンザウイルスB型Victoria系統																					
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																					
その他のウイルス																					
A群溶血性レンサ球菌T-1型																					
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型																					
A群溶血性レンサ球菌T-12型																					
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			2																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

## <感染症豆知識>

### コウモリとウイルス

最近、人間に重篤な疾患を引き起こすウイルスの自然宿主が明らかになった例の多くがコウモリである。例えば、ウマから感染したオーストラリアのヘンドラウイルス、ブタから感染したマレーシアのニパウイルス、ヨーロッパで研究用サルから感染したマールブルグウイルス、アフリカのエボラウイルス、中国でハクビシンとタヌキから分離された SARS コロナウイルス、中東地域でヒトコブラクダからヒトへ感染した MERS コロナウイルス、そして最も注目すべきは、現在世界中で人の命や健康はもちろん、経済へも日増しに大きな猛威を奮っている新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）である。これらの新興感染症は、コウモリから直接または中間宿主の家畜などを介してウイルスが人間へ伝播（人獣共通感染症）する。その原因は、本来は森林や洞窟の中で生息するコウモリの間でひっそりと種を維持していたウイルスが、人間による食料増産、森林伐採や都市化などによりコウモリの生息地を破壊する中で、突如人間社会に出現し、グローバル経済下で瞬く間に全世界に拡散したことである。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックの発端は今なお解明されていないが、東南アジアのコウモリとセンザンコウが SARS-CoV-2 を保有していることが報告されている。また、中国、東南アジアの多くの地域では SARS-CoV-2 と遺伝的に関連性の高いコロナウイルスがコウモリで活発に循環していることが知られている。驚くことに日本でも、2013年に岩手県の洞窟で捕獲したコウモリから SARS-CoV-2 に類似するウイルスが見つかっている。

ウイルスの自然宿主としてのコウモリは、これからますます注目されると思われるが、人獣共通感染症がいつどこで発生するかを予測することは難しい。「ワンヘルス」アプローチの概念の下、公衆衛生や獣医衛生など各分野の専門家間での緊密な協力が重要である。

（文責 元日本大学医学部准教授 池田忠生）

## <感染症豆知識>

### 体形と感染症

COVID-19 の第5波によって、我々医療関係者は夏の風物詩を何ら楽しむことなく暑い8月が終わった。当院にも保健所や東京都入院調整本部から、自宅療養・ホテル療養中に呼吸困難を起こした患者の入院依頼が途切れることなく続いた。こうした患者には、若いながら糖尿病やBMI30以上の肥満が多かった。肥満がCOVID-19の増悪リスクであることは、初期の中国における臨床研究で指摘されたが、オーストラリアでの最近の研究でも、成人患者における肥満は重症化の独立した危険因子で、人工呼吸器が必要となる可能性が73%高いとされた。

ところで筆者が専門とする肺結核・非結核性抗酸菌症といった抗酸菌症においては、痩身が発病・重症化のリスクである。米国海兵隊入隊者を肥満・中間・痩身の3群に分けると、ツベルクリン反応陽性（既感染者）率は3.45%、3.42%、3.62%と均等だったのに、訓練中の結核発病率は10万対177.6、406.9、608.9と、肥満は痩身の1/3の発病だったという昔の研究がある。複数の *Mycobacterium avium complex* (MAC) 症の臨床研究でも、患者の平均BMIは低く、BMIが低い患者ほど肺病変も重症と報告されている。肥満は心臓病・糖尿病・高血圧・ある種の癌などのリスクが高いが、これまでの感染症（肺炎を含む）に対しては、肥満は痩身より重症化リスクが低く「肥満パラドックス」の原因の一つとされている。

しかしCOVID-19肺炎における増悪は、サイトカインストームが関与する。近年の肥満に関する研究では、多量に蓄積した内臓脂肪組織からTNF- $\alpha$ ・IL-6・MCP-1などの炎症サイトカインが分泌されて、これが動脈硬化の主因になっているという。そこにCOVID-19を発症するとACE-2受容体のある脂肪細胞を介して大量のサイトカインが放出されて、サイトカインストームを増悪させるという。肥満者に急激な減量は無理なので、せめて自粛生活で起きる過栄養状態を解消するための運動を勧めていきたい。

（文責 結核予防会複十字病院安全管理特任部長 尾形英雄）